



学校だより



青梅市立東小中学校
令和5年度 第9号
12月22日(金)

努力して大きく成長した2学期！

校長 富田 聖和

早いもので、令和5年もあと数日で終わろうとしています。今年は世の中ではコロナが5類に指定され、感染症対策が緩和されました。学校教育においても2学期は運動会において来賓や保護者をお招きすることができたり、クラブ活動等で関東大会に参加することができたりとコロナ禍前の活動がだんだんと戻ってきました。

そのような中で子供たちは自分自身に目標をしっかりとをもって努力をする姿が見られました。2学期始めの水泳大会では夏休みの努力が生かされ成長した泳ぎを見せられました。猛暑の中で練習し、本番を迎えた運動会。一生懸命になって競技・演技する姿は見ている人に感動を与えました。クラブ活動での取組や水泳、バレー、卓球の関東大会では、試合を重ねるごとに技術が向上し大きく成長していきました。関東少年文化祭では運動会で鍛え上げた南中ソーランにマット運動をコラボさせて独創的な演技ができました。これらの取組は、一つ一つの努力が積み重なって、できなくてもあきらめず努力をし続けたことで得られた成果だと思えます。子供たちは自分自身に向き合い、目標を確実に達成して成長してきたことと感じています。

2学期は猛暑が続き、コロナやインフルエンザの感染症を心配しながらも教育活動を行うことができました。常日頃、学園や寮職の皆様が学校へのご理解とご協力をいただいているおかげです。3学期も学校と学園とで連携を深めて教育活動を充実させていきたいと思えます。ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

秋のスポーツ大会 盛り上がる 熱気と歓声 やる気と笑顔

11月25日(土)学園恒例の秋のスポーツ大会が行われました。男子はソフトボール大会、女子はビーチボールバレー大会で熱戦が繰り広げられました。この日のために、各寮とも頑張る練習を積んできた成果が発揮できたと感じました。子供たちが目標に向かって頑張っている姿は何よりも嬉しい気持ちにしてくれます。そして、驚いたのは、子供たちのやる気だけでなく、本気で取り組む学園の先生方の熱気です。先生方のプレーを通して、スポーツ大会を楽しむ大切さを伝えてくれました。子供たちのために全力を尽くす姿は心打たれるものがありました。

今回は、学園の先生方の全面協力をいただき、学園・学校チームとして参加することができました。当日のチーム編成にもかかわらず、一人一人の力を合わせることができる本校や学園の先生方は、やはり素晴らしいなと感じたところです。

そして何よりも大会を企画・運営していただいた学園の先生方に感謝しております。

中学校 クラブ活動 関東少年卓球大会

12月7日（木）に横浜武道館にて関東少年卓球大会がありました。東中学校からは、卓球部13人で参加しました。午前は団体戦。団体戦に向け、シングルス、ダブルスの練習に取り組んだ成果を発揮しようと懸命にプレーしました。結果、女子チームは3位に入ることができました。午後は個人戦。一人きりでコートに立つ姿は皆とても緊張して見えてましたが、それぞれが堂々と精一杯戦いました。試合に負けても、仲間を応援することができました。個人戦では3人が5位に入る結果となりました。「返事・挨拶・礼儀・マナー」卓球部のモットーをよく意識し、学びの多い大会になったはずです。寮の先生方、応援とご支援ありがとうございました。

安全教育 セーフティ教室「薬物乱用防止」

12月13日（水）セーフティ教室を行いました。今回のテーマは「薬物乱用防止」でした。身近な薬も使い方を間違ってしまうと薬物乱用になってしまうこと、違法薬物を使ってしまうと体や心はどうになってしまうのか、薬物を使わせるような誘いがあったときの断り方は「はっきり断る」「その場を離れる」であること、などを学びました。

動画を見終わった後の皆さんの感想の中には「ただなんとなく断るのではなく、はっきりと自分の意思を伝えることが大切なんだと学びました。」や「自分は大丈夫だと思っけていても、いつの間にか何かの形で関わってしまうこともあるかもしれないという不安もあります。」や「自分の心と身体だけでなく、周りの人を傷つけてしまうことにもつながるので、今日感じたことを忘れずに過ごしていきます。」というものがありました。薬物使用を他人事と考えずにしっかり自分に置き換えて考えられているのだなと感じました。

もしも児童・生徒の皆さんの周りに薬物乱用の危険が迫っても、今回学んだことを活かして「はっきり断る」「その場を離れる」ようにして、絶対に使わない人生を歩むことを願っています。

小学校 社会科見学 小田原城・NINJA館・揚げかまぼこ作り

12月15日（金）小学校4・5・6年生は社会科見学で小田原城址公園と鈴廣かまぼこ博物館に行きました。小田原城址公園のNINJA館では、忍者になりきって修行を積むという設定の下、壁を乗り越える、合言葉の確認、手裏剣ゲームなどの体験を行いました。小田原城の天守閣では、当時の武器や生活で使われていた道具の展示を見学するだけでなく、小田原城がいかにして「難攻不落の城」と呼ばれるようになったかなどの歴史について学ぶことができました。また、天守からの景色は天候が悪い中ではありましたが、相模湾や伊豆半島などはっきりと見えたところもありました。鈴廣かまぼこ博物館では、かまぼこができるまでの過程を学び、実際に揚げかまぼこを作って食べるという体験をしました。自分で作った揚げかまぼこの味は格別だったようです。「学校の外でしか味わえないような貴重な体験を大切に」「集団行動をする上での公共のマナーについて考えを深める」という2つの目標を意識した上で「楽しむ」ということができた社会科見学だったと思います。今回の社会科見学を通して学んだことを、今後の生活につなげていって欲しいです。

昼食は、ボリューム・栄養ともに満点の美味しいお弁当をいただきました。早朝より作っていた学園調理室の皆さまの愛情に感謝いたします。